

だよ！全員集合！！



ボランティア・市民活動センター お問い合わせ先

本部・一宮	72-8787 72-2211
山崎	62-5530
波賀	75-3631
千種	76-3390

ボランティア・市民活動センター
イメージキャラクターぼらんちゃん

春休み 親子で手作り教室に 参加しませんか！！

障がい者の小規模作業所「チェシャージュップ&ギャラリー」では、手づくり教室を毎月開催しています。

【3月の予定】

♡ トールペイント 18日(火)
22日(土)

♡ さをり織り 23日(日)

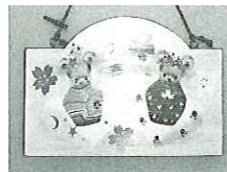
①10:00～12:00 ②13:00～15:00

体験料：500円(別途材料費が必要)

寄せ植えやリースづくりなども行われています。

▶申し込み チェシャージュップ&ギャラリー
(山崎町木ノ谷5-1 TEL 62-1651) まで

※申し込みが集中した場合は日程調整させていただきます。



素敵な作品が作れるよ

コーディネーター日誌



グループ座談会の様子

2月16日(土)

メイプル福祉センターにおいて、宍粟市内で活躍中のボランティア95名の参加で『宍粟市ボランティアのつどい』が盛大に開催された。当日は、兵庫県社協の阪上氏をアドバイザーとして迎え、グループ座談会での積極的な意見交換や話し合いに時の経つのも忘れ、有意義なひとときを過ごした。会場となった波賀のボランティアの皆様には、会場準備や出し物「みんなであう」で大変お世話になりました。

次回は一宮。がんばろう！！

(本部 長野美紀)

つどいの感想(アンケートより)

- 少子高齢化の時代、ボランティアの必要性を感じた。
- 各町のボランティアの様子がわかり参加して良かった。
- ボランティアを楽しんでやっていけば若い人材も育つ。
- ボランティアの入門講座を定期的に開催してほしい。
- 身近でできるボランティアがあることに気づいた。
- 社協やボランティアだけでなく、市町各自治会からの取り組みも必要だと思った。
- 予定時間に終わるようにしてほしい。
- 今以上にボランティアに関する情報を発信してほしい。
- 同じ活動をする方と情報交換する時間がほしかった。
- 素晴らしい計画で良い勉強をさせてもらった。
- 自分の時間を有効に使うことがボランティアの源と思う。

阪上氏のコメント

- 全体の雰囲気やグループ単位の話合いが活発にできており交流を深めるということは達成されたように思った。
- つどい運営をボランティアが自発的に担い、社協とボランティアが良好な関係を築けていると感じた。
- 5年後10年後のボランティアの長期的な取り組みの手段を、今後は市全体で考えることが課題である。
- つどいで100名近くも集まるほどの情熱とボランティア同士のつながりがあることは素晴らしいチカラだと感じた。

ボランティア

急募

料理を勉強したいあなた

配食サービスの

波賀
千種

調理ボランティアに

活動できる人、まずは体験したい人も！

年に5回～10回、ひとり暮らし・二人暮らし高齢者のお弁当作りをします。

配食サービス実施日時

波賀 毎週火曜 8:30～11:30
毎週金曜 13:00～16:30

千種 毎週火曜 13:00～15:30
第3木曜

※ このうち都合の良い日を調整します
※ 調理体験も受け付けています。
※ 一宮支部、山崎支部でも随時受付していますので、興味のある方や体験してみたい方はご連絡下さい。

▶ 申し込み・お問い合わせ：各支部

はが

「ボランティアの日」のお知らせ

だれでもできるボランティア活動の日を毎月1回設け、皆様に呼びかけています。どなたでもお気軽にご参加下さい。

4月

廃油を利用した
固形石けんづくり

とき 4月15日(火)
13:30～15:00
ところ 市民センター波賀



5月

廃油石けん袋詰め

とき 5月15日(木)
13:30～15:00
ところ 市民センター波賀



▶ お問い合わせ：波賀支部

活動中に公民館の高価な花瓶を割って、ケガをした。治療費と弁償費用に困るなあ。



このような活動中の事故に備え「兵庫県ボランティア・市民活動災害共済」があり、社協が窓口になっています。

(掛金はひとり年間500円)

今回のような事故では、花瓶の弁償費用と通院給付金が支払われます。

保険の加入については、ボランティアコーディネーターにお問い合わせください。

このコーナーでは、ボランティアコーディネーターが、みなさんの質問にお答えしたり、活動の紹介などをしていきます。みなさんからのご意見、ご質問等、お待ちしております。

**ボランティアコーディネーターに
おまかせ !!**



vol.6

コーディネーター日誌



牛乳パックの手漉き和紙作りを見学

2月27日(水)

染河内小学校の4年生9名(欠席2名)と一緒に、はりま自立の家を訪問した。入居者の生活やユニバーサルデザインを学び、最後に、歌やよさこいを披露するととても喜んでくださった。

今日までに、手話、点字、車椅子体験などの福祉学習を重ねてきたみんなは、いろんなことを感じてくれたようです。自分以外の誰かのことを考えると、普段の生活の中でも、今まで気づかなかったことに気づくね。これからも、やさしい気づきがたくさんあるといいな。
(一宮支部 日下奈津美)